

橘神社春季例大祭

R7.4.15



修祓の儀



橘神社春季例大祭の神事が下に記した次第により厳かに行われました。

例大祭式次第

一同着席

開式のことば

修祓(しゅばつ)の儀

宮司一拝

開扉

献饌(けんせん)

祝詞奏上(のりとそうじょう)

玉串奉奠(たまぐしほうてん)

撤饌(てっせん)

閉扉

宮司一拝

閉式

直会(なおらい)

以上



直会

- ・修祓の儀：「おおぬさ」という祭器を使って行うお祓い。
- ・開扉、閉扉：拝殿の奥にある本殿の扉の開け閉め。
- ・献饌：食事を神様に捧げること。
- ・祝詞奏上：神主が、祈願者や参列者の代りに神様に成就をお願いするという意味がある。神主は、参列者と神様の橋渡し役だということ。
- ・玉串奉奠：玉ぐしは、神霊を迎える依り代と云われている。また、神様と人との仲立ちとしての役割があるとも云われている。
- ・撤饌：神様に捧げた食事を下げること。
- ・直会：お神酒をいただき、神饌(しんせん：お供え物)をさげて頂戴することで、神様が召し上がった食べ物、参列者が頂くことによって、神人一体となるという意味がある。
(出典：「昨日の自分より素敵な自分に」)